

市長へ政策提言

平成 23 年 11 月 25 日、石協会長・財部会長職務代理・竹下農政部会長・五位塚部会長代理が池田市長に対し、下記の事項について政策提言をいたしました。



曾於市農業振興政策についての提言

曾於市発足以来 7 年目を迎え、市長を始め、関係機関一体となり、農業を支える担い手の育成や積極的な農業振興に取り組んでいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

農業委員会では「かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる『かけ橋』」の理念のもと、農地の有効利用や担い手の育成に取り組んでおります。一昨年の 12 月、農地法が改正され、従来の農地の許認可の他、農地の利用状況調査等の実施が義務づけられ、農業委員会の役割はますます大きくなってきております。

今年の秋以降、貿易の自由化を目指す TPP（環太平洋連携協定）への参加をめぐる議論がたかまりつつある中、農業を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しつつあります。今後とも農業委員会活動へのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

曾於市農業委員会は地域農業者の代表として、将来に希望を持ち、農業が発展するように行政上の諸問題について提言します。平成 24 年度の本市の農業・農村施策に反映していただきますようお願い申し上げます。

記

1. TPP 問題について

わが国が、関税撤廃の例外措置を認めない TPP（環太平洋連携協定）交渉に参加すれば、農林水産業をはじめ、関連産業を含む地域経済が崩壊することは必至であります。曾於市及び日本の農業を守るため国・県へ継続して反対していただくことを要望します。

2. 軽油引取税の免税制度について

軽油については、軽油引取税という都道府県民税が課されていますが、農業機械の燃料として使用される軽油については、時限立法で平成 24 年 3 月末まで免税となっています。

農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況であります。農業振興のため、引き続き、免税制度の継続を国と県に働きかけをしていただきますよう要望します。

3. 葉たばこ廃作農家及び畑作農家支援について

たばこ価格の上昇等によりたばこ離れが加速し、葉たばこを買い入れる日本たばこ産業株式会社（JT）は需給バランスを維持するため、全耕作者を対象に 10 アール当たり 28 万円の協力金を支払って廃作奨励する判断を求めてきております。全国の葉たばこ農家は、約 4 割が廃作を選択しております。曾於市では 30 数戸の葉たばこ耕作者のうち、2 戸しか残らない状況であります。

今後、畑かんを利用した収益性の高い作物を選定し、加工から販売までの 6 次産業化に向けた長期ビジョンを作成し、安定した経営ができる指導を要望します。

4. シルバー人材センターの支援について

シルバー人材センターは、「自立・共同・共助」の理念のもと、高齢者が知識や経験や能力等を生かしながら就業していただいております。高齢者の社会参加に大きく貢献していただいております。

農家や法人は農繁期、人材や労力の確保に苦慮している状況です。シルバー人材センターで人材の充実を図っていただき、農家や法人の人材確保の支援を要望します。

5. 畜産農家の支援について

東京電力福島第 1 原子力発電所事故の放射能セシウムを含む稲わらが広範囲に流通していることが判明し、枝肉価格の低迷が続いております。全頭検査を実施していただき、消費者の信頼回復を図り、安心して牛肉を食べていただく取り組みを要望します。

また、枝肉価格の低迷は肥育農家が導入を控えることになり、繁殖農家に影響を及ぼします。畜産対策については、畜産振興協議会を中心に対策を実施していただいております。大きな成果を上げていただいておりますが、更に各種補助金・助成金の充実を図っていただきますよう要望します。

6. 有害鳥獣対策について

イノシシやカラス等の有害鳥獣の被害は、年々増加傾向であります。市におきましては駆除対策等の取り組み等をしていただいておりますが、有害鳥獣駆除隊の確保支援や出動要請時の猟犬の事故等に対する治療費助成を要望します。

7. 食育の推進と地産地消について

近年、消費者の安心・安全に対する関心が高まっている中、新鮮な地元農産物の消費拡大を更に推進していただくことを要望します。

将来を担う子ども達に、安心・安全な食料を提供すると共に環境保全に大きな役割を果たしている農業について、学校教育で食育や体験活動等を通じて理解を深めていただくことを要望します。

8. 後継者対策について

農家の高齢化、後継者不足は深刻な状況であります。認定農業者、担い手の確保育成と経営安定向上のための支援の拡充を要望します。

また、農業後継者の花嫁対策については、交流の場を 1 回限りでなく、植え付けから中間管理・収穫・パーティ等実施していただき、交流の場を多く持っていただきますよう要望します。